

# 令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報								
事務事業名	663 無線設備保守管理事業							
戦略プラン					担当部課 係名	生活環境部水道総務課 庶務係		
総合戦略					新規・継続	継続		
					事業分類	法定＋任意		
予算科目	AA-010203-01 営業費用 総係費（委託料）				市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解		
要求区分		事業期間		<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画				
個別計画						<input type="checkbox"/> 実行		
						<input type="checkbox"/> 評価・検証		
根拠法令	電波法、つくば市水道事業無線局管理運用規程				事業体制	全て委託		
					市長公約			
概要								
事業の目的					事業の概要			
無線設備の必要な維持管理を行い災害時等に必要な通信手段を確保する。					・無線設備の空中線系、送受信機等の点検及び必要な修繕を行う。			
評価								
事業計画					活動実績			
・無線設備の保守点検を実施する。					保守点検実施 ・基地局 1 式（リモコン 2 台含む） ・陸上移動局（車載用）18局 ・陸上移動局（携帯用）2局			
成果					課題			
通信手段を確保するとともに、通信トラブルの未然防止が図れた。					平成17年度の法改正により、令和 4 年12月から現在使用している無線設備は使用不可能になる。 また、無線従事者免許所有者が、定年退職により減少していくことが見込まれている。			
改善目標（R02年度にむけて）								
法改正の適用を受けず無線従事者免許が不要な「I P無線」への切換えを令和元年度に 9 台行い、令和 2 年度に 8 台を予定している。								
指標の推移								
1	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
2	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	222	226	380	0
事業費計		(千円)	222	226	380	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.50	0.50		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	3,529	3,392		
事業コスト		(千円)	3,751	3,618		

R02年度当初積算根拠	通信運搬費：無線使用料 380,000円					
-------------	----------------------	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	-	法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか		

# 令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	664 水道業務職員研修事業									
戦略プラン					担当部課 係名	生活環境部水道総務課 庶務係				
総合戦略					新規・継続	継続				
					事業分類	任意的事務				
予算科目	AA-010203-02		営業費用 総係費（各種研修参加負担			市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解			
要求区分		事業期間			<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画					
個別計画	—				<input type="checkbox"/> 実行					
根拠法令					<input type="checkbox"/> 評価・検証					
					事業体制	職員のみ				
					市長公約					
概要										
事業の目的					事業の概要					
水道技術職員や企業会計事務職員の育成及び資質向上					<ul style="list-style-type: none"> <li>厚生労働省、日本水道協会、日本経営協会等が主催する水道技術職員や企業会計職員を養成するための水道事業特有な研修に参加させる。</li> </ul>					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> <li>当該職員の職種や経験年数を考慮し、年度内に15名以上を参加させる。</li> </ul>					厚生労働省主催の研修に3名、日本水道協会が主催する研修に4名、日本経営協会が主催する研修に2名、その他の主催による研修に8名を参加させた。（計17名） 職種別の内訳は、水道技術系職員が9名、企業会計事務系職員が8名となっている。					
成果					課題					
人事異動又は新規採用による新たな職員を優先して参加させることで、水道事業企業職員として必要な知識や技能を習得させている。（17名のうち8名が新たな職員）					人事異動等により、毎年水道業務に関する経験者が他部署へ異動し、未経験の職員が配属になることから、職員の早急な育成が課題である。					
改善目標（R02年度にむけて）										
新しく配属になった職員に対し、厚生労働省や日本水道協会が主催する水道事業に関する専門的な研修へ積極的に参加させ、知識や技能の習得をはかる。										
指標の推移										
1	指標名	研修参加者人数					( 人 )		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	0.0		
	実績	0.0	21.0	22.0	27.0	23.0	17.0	0.0		
	指標の概要									
2	指標名						( )			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移							
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)	
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0	
	県支出金	(千円)	0	0	0	0	
	地方債	(千円)	0	0	0	0	
	その他	(千円)	0	0	0	0	
	一般財源	(千円)	503	191	421	0	
事業費計		(千円)	503	191	421	0	
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.00	1.00			
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00			
	臨時職員等	(有無)	無	無			
人件費		(千円)	7,057	6,783			
事業コスト		(千円)	7,560	6,974			

R02年度当初積算根拠	負担金：各種研修参加負担金	297,000円
	旅費：研修旅費	124,000円

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

# 令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報									
事務事業名	665 資金運用事務								
戦略プラン						担当部課 係名	生活環境部水道総務課 会計係		
総合戦略						新規・継続	継続		
						事業分類	任意的事務		
予算科目	AA-010203-02		営業費用 総係費（各種研修参加負担）						
要求区分		事業期間				市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証		
個別計画									
根拠法令						事業体制	職員のみ		
						市長公約			
概要									
事業の目的					事業の概要				
元金の安全性を確保しながら余剰資金を運用することにより利息を確保するため。					<ul style="list-style-type: none"> <li>余剰資金を定期預金で運用する。</li> </ul>				
評価									
事業計画					活動実績				
<ul style="list-style-type: none"> <li>資金の一部を定期預金で運用し、適正・的確な資金運用を実施する。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>利率の良い定期貯金に積み立てることにより、利息収入を確保した。</li> <li>JA谷田部定期積替え 9月2日、12月2日、3月2日</li> </ul>				
成果					課題				
定期貯金運用で、178,447円の利息収益を得た。					近年定期貯金利率の低下が顕著で、利息収益が年々減少している。				
改善目標（R02年度にむけて）									
年間を通じた資金計画を立てることで、余剰資金を安定的に確保することができると見込まれる期間に随時定期貯金の積立てを行うなど、更に効率的な資金運用を行う。									
指標の推移									
1	指標名	( )							
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	指標の概要								
2	指標名	( )							
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	指標の概要								

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	0	0	0	0
事業費計		(千円)	0	0	0	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.20	0.20		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	1,412	1,357		
事業コスト		(千円)	1,412	1,357		

R02年度当初積算根拠						
-------------	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

# 令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報								
事務事業名	666 例月出納検査に関する事務							
戦略プラン					担当部課 係名	生活環境部水道総務課 会計係		
総合戦略					新規・継続	継続		
					事業分類	法定事務		
予算科目	AA-010203-02	営業費用 総係費（各種研修参加負担			市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解		
要求区分		事業期間				<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画		
個別計画						<input type="checkbox"/> 実行		
						<input type="checkbox"/> 評価・検証		
根拠法令	地方公営企業法、つくば市水道事業会計規程				事業体制	職員のみ		
					市長公約			
概要								
事業の目的				事業の概要				
水道事業会計等の適正な執行のため。				<ul style="list-style-type: none"> <li>業務に係る公金の収納及び支払事務について、監査委員より検査を受ける。</li> </ul>				
評価								
事業計画				活動実績				
<ul style="list-style-type: none"> <li>適正、的確な会計処理を行い、例月出納検査を受ける。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>月毎に出納検査の説明資料を作成し、監査委員の検査を受けた。</li> </ul>				
成果				課題				
適正な会計処理で指摘事項はなかった。				水道事業会計における幅広い知識とノウハウの共有が必要である。				
改善目標（R02年度にむけて）								
会計係員全員が例月出納検査における試算表説明書を速やかに作成することができ、内容を熟知した上で経営上の課題等を共有することができる体制を構築する。								
指標の推移								
1	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
2	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移							
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)	
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0	
	県支出金	(千円)	0	0	0	0	
	地方債	(千円)	0	0	0	0	
	その他	(千円)	0	0	0	0	
	一般財源	(千円)	0	0	0	0	
事業費計		(千円)	0	0	0	0	
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.60	1.60			
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00			
	臨時職員等	(有無)	無	無			
人件費		(千円)	11,292	10,853			
事業コスト		(千円)	11,292	10,853			

R02年度当初積算根拠							
-------------	--	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由	
維持		

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	-	法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか		





	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	2,035	2,054	2,469	0
事業費計		(千円)	2,035	2,054	2,469	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.20	1.20		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	8,469	8,140		
事業コスト		(千円)	10,504	10,194		

R02年度当初積算根拠	187,000円×12ヶ月×1.10=2,468,400円					
-------------	-------------------------------	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

# 令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報									
事務事業名	668 事務機器の管理事業								
戦略プラン						担当部課 係名	生活環境部水道総務課 庶務係		
総合戦略						新規・継続	継続		
						事業分類	任意的事務		
予算科目	AA-010203-03		営業費用 総係費（使用料及び賃借料）			市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解		
要求区分		事業期間			<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画				
個別計画							<input type="checkbox"/> 実行		
							<input type="checkbox"/> 評価・検証		
根拠法令						事業体制	職員のみ		
						市長公約			
概要									
事業の目的					事業の概要				
事務機器の効率的な運用					<ul style="list-style-type: none"> <li>複写機及びシュレッダーの賃貸借・保守契約により機器を使用する。</li> </ul>				
評価									
事業計画					活動実績				
<ul style="list-style-type: none"> <li>事務機器の賃貸借及び保守契約を継続し運用する。</li> </ul>					契約事務等 <ul style="list-style-type: none"> <li>カラー複写機賃貸借保守1台</li> <li>葛城配水場複写機保守1台</li> <li>シュレッダー賃貸借1台</li> </ul>				
成果					課題				
事務機器の効率的な運用が図れた。									
改善目標（R02年度にむけて）									
指標の推移									
1	指標名	( )							
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	指標の概要								
2	指標名	( )							
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	指標の概要								

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	1,911	1,042	1,604	0
事業費計		(千円)	1,911	1,042	1,604	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.50	0.50		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	3,529	3,392		
事業コスト		(千円)	5,440	4,434		

R02年度当初積算根拠	修繕費：複写機パフォーマンスチャージ 1,587,000円 使用料及び賃借料：シュレッダー 17,000円					
-------------	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	3 今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	

# 令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報								
事務事業名	669 公用自動車管理事業							
戦略プラン					担当部課 係名	生活環境部水道総務課 庶務係		
総合戦略					新規・継続	継続		
					事業分類	任意的事務		
予算科目	AA-010203-04 営業費用 総係費（修繕費）				市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解		
要求区分		事業期間		<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画				
個別計画						<input type="checkbox"/> 実行		
						<input type="checkbox"/> 評価・検証		
根拠法令					事業体制	職員のみ		
					市長公約			
概要								
事業の目的					事業の概要			
公用自動車を有効に使用し、効率的かつ効果的な管理を行う。					・車両の更新、車検及び点検修理等を行う。			
評価								
事業計画					活動実績			
・公用自動車14台について、適切な維持管理を実施する。					<ul style="list-style-type: none"> <li>・車検14台</li> <li>・修繕5台</li> <li>・任意保険加入14台</li> <li>・損害共催継続手続き14台</li> <li>・再リース契約3台</li> <li>・新規リース契約5台</li> <li>・給水車購入1台</li> </ul>			
成果					課題			
適切な維持管理により、トラブルの未然防止が図れた。					特に大きなトラブルや致命的な故障等は発生していないが、水道事業で管理している公用車全体に老朽化が進行している状況である。			
改善目標（R02年度にむけて）								
公用車の老朽化を解消させるために、重要度を考慮した優先順位を定めて計画的に更新していく。								
指標の推移								
1	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
2	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	1,263	1,051	1,128	0
事業費計		(千円)	1,263	1,051	1,128	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.00	1.00		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	7,057	6,783		
事業コスト		(千円)	8,320	7,834		

R02年度当初積算根拠	修繕費：車検整備、法定点検、修理ほか 600,000円 負担金：自賠責保険、任意保険 528,000円					

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		